

職員による自己評価

A 環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・感染症予防のため、人との距離を保てるように座席等の配慮を行っている。

B 業務改善

- ・毎年自己評価アンケートの内容をふまえ、業務改善に努めている。
- ・発達障害に関する知識を深めていくため、社外研修に積極的に参加している。

C 適切な支援の提供

- ・コロナ感染予防の観点から、室内での活動が中心となり、その中でバスボム作成などの活動を行っている。
- ・毎日登校する児童について情報共有をしている。

D 関係機関との連携

- ・学校との直接的な連絡のやり取りはしていないが、保護者を通じて情報共有を行っている。

E 保護者への説明責任・信頼関係

- ・面談時や契約時に支援内容や運営規定を説明している。
- ・会報の発行も年に数回行っている。

F 非常対応

- ・避難訓練を年に2回行っている。

保護者による評価

A 環境面

- ・ビルのエレベーターの閉まるスピードが速い。
- ・勉強に集中できるようについでがあると良い。

B 児童への支援内容

- ・学習内容が難しいと職員の解説が分かりにくいことがある。
- ・放課後児童クラブなどの交流希望の有無については、コロナの影響もあり「不必要」の数が多かった。

C 事業所からの情報発信

- ・支援の内容や日々の児童の発達の状況の共有が出来ているかといった質問については「はい」という回答が多かった。
- ・苦情になるようなことはなく、苦情があったとしても適切に対応してくれると思う。

D 非常対応

- ・緊急時対応マニュアルなどの認知は高くなってきた。

E 満足度

- ・利用時間が短い。
- ・対応が良く満足している。
- ・登校する前は消極的な様子はあるが、行くと楽しく過ごしている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・オンラインシステムにて日々の活動を記録しており、保護者と情報を共有することが出来ている。また、個別支援計画の面談などで、今後の課題についても共有している。
- ・避難訓練は年に二回行っており、非常災害時のマニュアルについても周知されつつある。
- ・活動プログラムが固定されている面もある。

【相違点】

- ・利用時間が短い。
- ・ビルのエレベーターが閉まるスピードが速く、バリアフリーとはいえない。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・当日登校する児童について、職員間で情報共有の時間を設けており、統一性を持った声掛けなどが出来るように支援をしている。
- ・面談などで保護者の方と児童の現況や課題について共有をしている。
- ・避難訓練は定期的に行っており、契約時に非常時のマニュアルについて説明を行っている。
- ・コロナ禍ということもあり、外遊びなどは行うことが出来ていないため、代替として教室内でできる療育を検討し、提供している。
- ・社内研修などを通して、発達障害に関する学びの場を設けている。

事業所の改善点

- ・学習内容が難しくなると指導が分かりにくくなることもある。
- ・ついたてなどがあると勉強により集中できる。
- ・コロナ禍ということもあり、利用時間が短い。
- ・勉強に対して苦手意識を持つ児童が少しずつ増えてきている。

事業所の改善への取り組み

- ・学習指導に関しては、児童が来る前に学習教材や指導方法について確認をすることで、理解を深められるような支援をしていく。また、勉強への苦手意識が少しでも軽減できるように、学習教材の工夫なども行っていき、自己肯定感を高めていけるようにしていきたい。
- ・集中して勉強が取り組めるような環境整備を検討していく。
- ・利用時間に関しては感染症予防観点も踏まえ、慎重に協議をしていきたい。また、ご利用時間の関係で利用が難しいなどの話が聞かれた場合には、その都度臨機応変に対応していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

去年に比べて回答率が高くなっており、たくさんのご意見をいただくことが出来ました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止として多くの方にご協力をいただき、感染防止に努めてまいりました。来年度も安全に過ごせるように、最大限の配慮と対策を講じていきたいと思っております。

支援に関しましては、お子様の状況を確認しながら日々情報を共有していき、より良い支援となるように努めてまいります。

事業所名 オレンジスクール 青葉台教室

担当者 小川 沙織

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室
 保護者数（児童数）：（53名） 回収数：38 割合：72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	11	0	集中して勉強が出来るように、ついたてなどがあると嬉しい。	以前までグループ席にて対応をしていたため、周りが気になりやすい環境だった。現在は、個別席にて対応をしており席の位置にも配慮しているが、さらに適切な策を検討していきたい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	5	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	16	2	○事業所の設備に関して確認をしていないためどちらともいえない。 ○ビルのエレベーターがすぐ閉まるため子供が挟まる可能性がある。そのため、バリアフリー仕様ではない。	ビルに設置してあるエレベーターに関しては、エレベーター点検時などに相談を行ってきたい。
適切 な 支 援 提 供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	34	4	0		
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	25	12	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 5	12	不必要 21	○コロナの影響もあるので今は必要ないと思うが、落ち着いたらあっても良いと思う。 ○学校で交流をしているため不要だと思う。	今回も不必要を選択するご家庭が多かった。しかし、必要を選ぶご家庭もあったため検討をしていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	36	2	0		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	35	3	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 5	13	不必要 20	○コロナの影響もあるので今は必要ないと思うが、落ち着いたらあっても良いと思う。 ○なくてもいいが、あったら参加するかもしれない。	今回も不必要を選択するご家庭が多かった。しかし、必要を選ぶご家庭もあったため検討をしていきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	11	0	○苦情になるようなことはない。（未選択） ○苦情の有無が不明なため、どちらともいえぬ。 ○苦情があっても適切に対応してくれると思う。	苦情の有無が不明なためどちらともいえないと選択するご家庭が多かった。今後苦情があった場合には迅速かつ適切に対応していきたい。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35	3	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	34	4	0		
非 常 時 等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	35	2	0	未選択1名	

の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	37	1	0		
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	34	4	0	<p>○通所を毎回とても楽しみにしている。</p> <p>○行けば楽しく過ごしていきたくはないと言わないが、勉強が好きではないため、行くのを楽しみにはしていない。</p> <p>○ぐずるわけではないが、行く前は不満げなことを言うことがある。しかし、行くと楽しそうにしている。</p> <p>○手厚くサポートをしてくれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強が嫌いな児童もいるため、少しでも勉強への苦手意識を軽減できるような学習指導をしていきたい。 ・今後も楽しく利用していただけるように、ご家庭と情報共有をしながら支援に努めていきたい。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	31	7	0	<p>○対応が良く大変満足している。</p> <p>○コロナ対策のため仕方ないと思っているが利用時間をもう少し長くしてほしい。</p> <p>○難しい問題だと先生もよく分かっておらず解説が分かりにくくなると子供が言っていたため、改善してほしい。</p> <p>○いつも丁寧に支援してくれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持参する学習については、職員が事前に教材を確認をすることで、どのように指導をしたらいいのか統一し、児童に分かりやすく解説が出来るようにしていく。 ・利用時間に関してはコロナ渦ということもあるため、密にならないように今後も慎重に検討していきたい。しかし、時間枠でのご利用が難しい場合もあるため、その際にはご家庭と相談をし、臨機応変に対応していきたい。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクール青葉台教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・現状はコロナウイルス感染予防のため、人との距離を保てるようにしている。 ・法令順守している。	・今後も継続していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令順守している。	・今後も継続していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・法令順守している。	・安全に利用できるように、日々の中でバリアフリーが必要な部分などを確認していき、その都度対応していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・児童が登校する前に全職員に情報共有をしている。	・今後も継続していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・ご家庭から頂いたアンケートをもとに毎年業務改善に努めている。	・今後も継続していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年オレンジスクールのHPにて公開している。また、年に数回オレンジびよりを発行している。	・今後も継続していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・行っていない	・現段階で社内で業務評価を実施している。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・社内にて発達障害の理解を深めるための研修を受けている。外部研修に関してはコロナの影響もあるため頻度は減少したが、オンライン研修が開催された時には参加している。	・今後も継続していく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・契約時にアセスメントを行っており、ご家庭とニーズや課題を聞いている。また、児童の支援を通して感じたことを個別支援計画の作成に繋げている。	・今後も継続していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・アセスメントシートは事業所内で統一したものを使用している。	・今後も継続していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月の中で「みんなで遊ぶ週間」を設定し、その期間は職員が考えた遊びを提案している。 ・コロナの感染防止のため、公園遊びなどは行えなくなったが、特別なイベントとしてバスボム作成やスーパーボール作成などの室内で遊べる療育を年に数回行っている。	・今後も継続していく。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・「みんなで遊ぶ週間」では、遊びが、固定化しないように配慮をしている。	・今後も継続していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・学習面では学校の宿題を通して課題を細やかに設定するように支援をしている。療育面に関しては、長期休暇に生活リズムが崩れてしまいがちなため、そのことも配慮して支援をしている。	・今後も継続していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・毎朝予定表を作成し、学習の時間と療育の時間を決めている。また、集団療育も行えるように、配慮している。	・今後も継続していく。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・児童が登校する前の時間で情報共有を行っている。	・今後も継続していく。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・当日の記録を記載する際に職員同士でその日の振り返りをしている。その後日誌に気になったことを記載し、支援方法の共有に関しては後日共有している。	・今後も継続していく。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・オンラインシステムにて記録を公開している。 ・職員間で記録を確認することで正しい情報をご家庭へ伝えることが出来るようにしている。	・今後も継続していく。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・法令順守している。 ・モニタリングをするにあたって支援の見直しも行っている。	・今後も継続していく。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			・法令順守している。	・今後も継続していく。	
	関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	・相談支援事業所を利用している児童がいない。	・利用者がいる場合は適当な職員が参加する。
		㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか			○	・個人情報の観点から学校と直接的なやり取りは行っていないが、ご家庭を通じて情報共有をしている。	・今後も継続していく。
		㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現在医療的ケアを必要としている児童は少ないが、てんかん発作やアレルギー発作などのことも見据えて、契約時にご家庭を通して医療機関や緊急時の対応法について確認をしている。	・今後も継続していく。
		㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	・個人情報の観点から就学前に利用している施設との直接的なやり取りは行っていないが、ご家庭を通じて情報共有をしている。	・今後も継続していく。
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・個人情報の観点から高校卒業後に利用する施設との直接的なやり取りは行っていないが、ご家庭を通じて情報共有をしている。	・今後も継続していく。	
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	・コロナ感染防止のため、外部研修への参加頻度は減少したが、オンライン研修が開催された時には参加している。	・今後も継続していく。	
㉖		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現在はコロナ感染防止のため公園遊びなども行っておらず、教室内での活動に限定している。	・情勢に応じて慎重に検討していきたい。	
㉗		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			・区で開催している専門部会などに参加している。コロナの影響もあり、参加できないこともある。	・今後も継続していく。	
㉘		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・オンラインシステムにて児童の記録を公開している。 ・送迎時や面談時などにご家庭や学校での状況を聞いている。	・今後も継続していく。	
㉙		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・面談時に家庭での支援方法についてアドバイスを行っている。	・今後も継続していく。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・面談時や契約時に説明を行っており、教室の見える場所に運営規定を掲示している。	・今後も継続していく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・面談時に家庭での支援方法についてアドバイスを行っている。	・今後も継続していく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在実施していない。	・保護者会に関してはご家庭へのアンケートでも不要の回答が多くあったため、慎重に検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・児童やご家庭からの要望に対して迅速かつ適切に対処できるようにしている。	・今後も継続していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年に数回「オレンジびより」を発行している。また、ブログ等で活動内容をお知らせしている。	・今後も継続していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			・年に1回研修を実施している。 ・書類に関しては鍵付き棚にて保管をしている。	・今後も継続していく。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・連絡事項については、簡潔に分かりやすく情報を伝えられるように配慮している。また、メールやLINEなども使用してご家庭にも伝えることで連絡もれがないようにしている。	・今後も継続していく。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在実施していない。	・外部に向けた行事のレクリエーションは行っておらず、教室内で四季を感じられる工作のみを行っているため、このまま継続していきたい。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・教室内に掲示している。	・今後も継続していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年に数回避難訓練を行っている。	・今後も継続していく。
	④①	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・年に1回研修を行っている。	・今後も継続していく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・契約時に具体例を出しながら説明をしている。説明後は同意書に署名と捺印をもらっている。	・今後も継続していく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・現在おやつや食事を提供していない。しかし、アレルギーがある児童に対しては、対処方法などをご家庭と確認している。	・今後も継続していく。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・日誌で日々のヒヤリハットを記録し、共有している。	・今後も継続していく。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。